

星出彰彦（ほしで あきひこ）宇宙飛行士搭乗の
米国クルードラゴン宇宙船運用2号機の打上げ成功について
〔内閣府特命担当大臣（宇宙政策）談話〕

本日、星出彰彦宇宙飛行士を含む4名が搭乗した米国クルードラゴン宇宙船2号機の打上げが成功し、国際宇宙ステーション（ISS）とのドッキングが完了しました。

星出宇宙飛行士は、昨年11月に飛び立った野口宇宙飛行士と同様に、民間企業が開発した宇宙船に搭乗しており、民間主導の宇宙開発利用が定着したことを実感しています。

今回、星出宇宙飛行士は将来の月面探査にも大きく貢献するISSの船長として多国籍の宇宙飛行士の指揮を執りますが、これは大変栄誉なことです。星出宇宙飛行士には、リーダーシップを存分に発揮し、任務を安全に遂行してほしいと思います。

先日、星出宇宙飛行士にお会いした際にも、ISSにて大きな成果を上げていただくとともに、SNS等を通じて積極的に情報発信することをお願いしたところですが、そうした活動が、国民、とりわけ将来を担う子供たちの宇宙への関心を高め、我が国の宇宙開発利用を加速するきっかけとなることを心から期待しています。

令和3年4月24日
内閣府特命担当大臣（宇宙政策）
井 上 信 治